



令和5年度 自閉症教育実践研究協議会

研究主題 (4年計画の1年次)

「知的障害を伴う自閉症児が確かに育つ教育課程の改善」

幼稚部副題：幼児の興味・関心×活動同士のつながりを意識した授業づくり
＝遊びの広がり

小学部副題：単元構想シートを活用した授業づくりの見直し

開催趣旨

今年度より、「知的障害を伴う自閉症児が確かに育つ教育課程の改善」をテーマに、これまでの研究の成果と課題を振り返り、改めて、幼児児童期の知的障害を伴う自閉症児に育てたい力や経験させたいことを整理しながら、教育課程の改善に向けて4年計画で取り組みます。

今年度はその1年次に当たり、幼稚部、小学部ごとに教職員間で学部の課題や子供に育てたい力について意見交換を行い、整理しました。そして、それらをもとに、幼稚部は「活動同士のつながり」を意識した授業づくり、小学部は「単元構想シート」を活用した授業づくりに取り組み、各学部の代表児の変容から、知的障害を伴う自閉症児に対する授業づくりのポイントと学習内容を提案します。本校の実践について参会の皆様と意見交換させていただき、有意義な協議会となれば幸いです。多くの皆様の御参加をお待ちしております。



参加申込み

参加費
無料



- 1 開催日時 令和5年12月9日(土) 9時15分～16時30分 オンライン開催
- 2 申込期間 令和5年9月8日(金)～令和5年11月27日(月)
- 3 参加定員 300名(先着順)
- 4 申込み手順
 - ①本校ホームページに掲載している参加申込のGoogleフォーム、もしくは、右記のQRコードよりアクセスしてください。
 - ②必要事項を御記入ください。
 - ③Eメールで参加受付をお知らせしますので、受付票をお受け取りください。

問い合わせ先

筑波大学附属久里浜特別支援学校自閉症教育実践研究協議会を推進する会 総務係(齋藤)

〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5丁目1番2号

TEL: 046-848-3444

FAX: 046-848-3740

e-mail: jik-uketsuke@kurihama.tsukuba.ac.jp

URL: <https://www.kurihama.tsukuba.ac.jp>

日程

9:00	9:15	10:00	11:55	12:55	15:30	16:20	16:30
ZOOM 開室	研究会 開会式 学校概要 研究概要	● 幼稚部 実践発表 指導助言	昼食・休憩	● 小学部 ・ 低学年 ・ 高学年 実践発表 指導助言	全体講演	閉会式	

実践発表

幼稚部

「幼児の興味・関心×活動同士のつながりを意識した授業づくり=遊びの広がり」をテーマに、5歳児学級の実践を発表します。幼稚部では、幼児の興味・関心を出発点とした教育活動を土台とし、活動同士の関連を意識して授業づくりを行うことで、幼児が自分から環境に気付いたり、主体的に環境に関わろうとしたりすることが増え、遊びを広げていくことができるのではないかと考えました。このような授業づくりの過程を通じた幼児の変容を発表します。



小学部 低学年／高学年

「単元構想シート」を活用した授業づくりの見直しをテーマに、低学年と高学年の生活単元学習(いきいきタイム)の実践を発表します。小学部では、学部内で授業づくりを共有できていないことで学習のつながりをイメージできていないことが課題だったことから、知的障害を伴う自閉症児の指導に大切なことを全教員で再度確認しようということになり、「育てたい力」の話し合いから授業づくりを始めました。

低学年は「さつまいもを掘ろう(仮)」、高学年は「影絵遊びをしよう(仮)」の授業づくりを通じた児童の変容から、授業づくりのポイントについて発表します。



指導助言者紹介

■ 幼稚部 指導助言者
国立特別支援教育総合研究所

主任研究員 谷戸 諒太 先生



■ 小学部低学年 指導助言者
国立特別支援教育総合研究所

主任研究員 柘植 美文 先生



■ 小学部高学年 指導助言者
国立特別支援教育総合研究所

主任研究員 真部 信吾 先生



■ 幼稚部 指導助言者
■ 全体講演 講師

筑波大学 人間系教授
野呂 文行 先生



平成16年に本校が当時の国立久里浜養護学校から筑波大学の附属学校に移管されて以降、野呂先生には長きに渡り、本校の自閉症教育の在り方について御指導いただいています。

今年度は、幼稚部の指導助言と、「これからの自閉症教育に期待すること(仮)」について御講演いただきます。